

令和6年度 評価委員会の指摘・提言を踏まえた対応方針

施設名：大阪府立水都国際中学校・高等学校

評価項目		評価基準		評価委員会の指摘・提言	改善のための対応方針	次年度以降の事業計画等への反映内容
3	生徒管理	(3)	生徒指導、進路指導は適切に行われているか（学校の教育活動全体として全ての教職員の協力のもと組織的に行われているか）	課題探究におけるICT及びSNSの活用法や指導法の研究に取組まれない。 万博に関する活動や金融教育等に取り組まれない。	メディアリテラシー教育を推進し、課題探究学習の充実を図ること、また、万博との連携活動や金融教育を推進するよう要請する。	生徒指導・進路指導に関して教科と連携しながら、メディアリテラシー教育および金融教育の推進を行う。学校教育活動全体として探究活動の充実のため万博との連携を活性化させる。
	生徒管理	(6)	個の特性に応じた支援体制を構築するなど、特別支援教育について適切に実施されているか	スクールカウンセラーの派遣回数について、常勤化も視野にさらなる充実に取り組まれない。	教職員に対して個の特性に応じた支援に関する研修を実施し、スクールカウンセラー等の外部専門機関との連携を一層充実させるよう要請する。	個の特性に応じた支援体制を強化するため、SCおよびSSWの配置をより充実させる。
4	運営管理	(5)	地域との交流活動への積極的な取り組みや地域の活性化に寄与する取り組み、実践内容・教育手法等を他の府立学校へ普及させる取り組みについて、積極的に計画・実施ができていないか	IBの手法を用いた探究型概念学習の教育手法を他の府立学校により積極的に普及させ、大阪の学校教育の底上げにつながる取り組みを充実させたい。	課題探究学習やIBの授業等について、府立学校等の教員を対象とした公開授業や研修の充実を図るよう要請する。	YMCAのグローバルネットワークを活用し、世界のYMCAとの交流や語学力・グローバルリーダーシップ向上のためのプログラム展開等、特色ある教育活動を展開する。